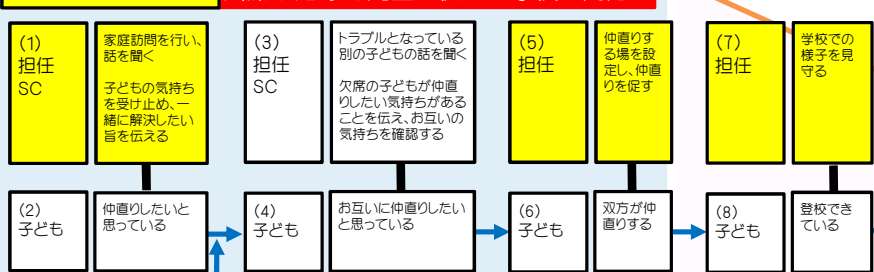


友人関係のトラブル(いじめも含む)がきっかけで学校を欠席し始めた児童生徒への学校の対応

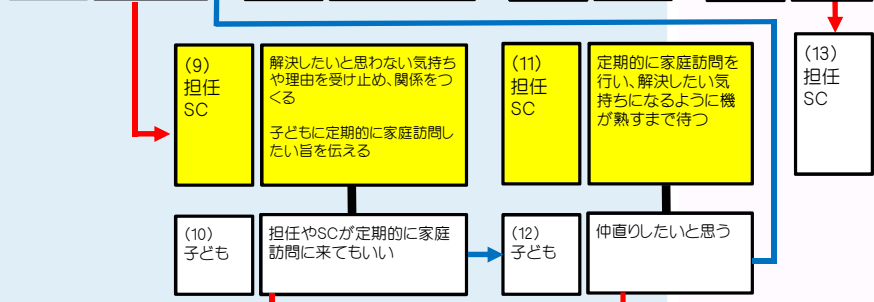


(0) → 管理職が子どもの欠席状況等を把握する方法や時期について、学校にばらつきが見られる

(1) (9) → 教員が子どものつらい気持ちを丁寧に受け止め、寄り添うといった家庭訪問の目的を十分に確認できないまま、家庭訪問を実施している状況がある

(5) (7) (37) → 双方を会わせて仲直りさせて終わりではなく、その後の関係性を注意深く見守ることができていない状況がある

(11) (34) (35) → 教員が子どもの気持ちを十分に受け止めないまま、解決や再登校を急いで促してしまい、子どもとの関係が崩れてしまう状況がある



→ YES
→ NO

登校しぶり等が見られる状態

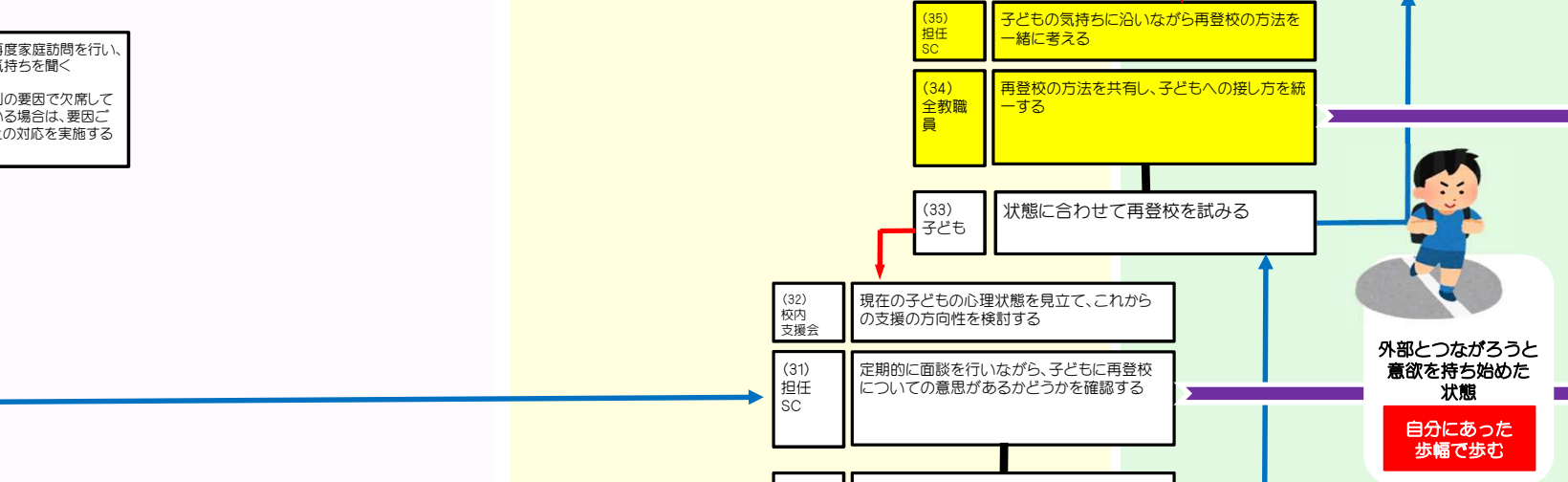
早く気づいてすぐ対応!

子どもが本合格期から回復期に移行したかを見極めるポイント

- ステップ1 家の中で子どもの気持ちが安定している
- ステップ2 子どもの生活にリズムが出てくる
- ステップ3 家の手伝いをするようになる
- ステップ4 興味や関心が家の外に広がる

登校困難な状態が本格化している状態

じっくりと関わる



心身のエネルギーがたまり始めた状態

安心できる場所からのスタート

再登校のステップ例

- ステップ1 散歩しながら家から徐々に学校に近づく
- ステップ2 放課後や休日など人のいない時に登校する
- ステップ3 別室で好きな時間に友達に会う
- ステップ4 別室で好きな時間に本人が選ぶ学習をする
- ステップ5 好きな教科の授業に出席する

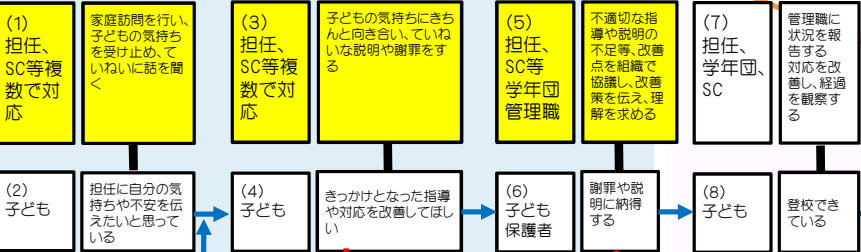
外部とつながろうと意欲を持ち始めた状態

自分にあった歩幅で歩む

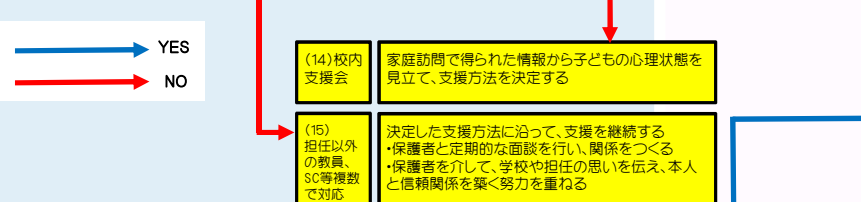
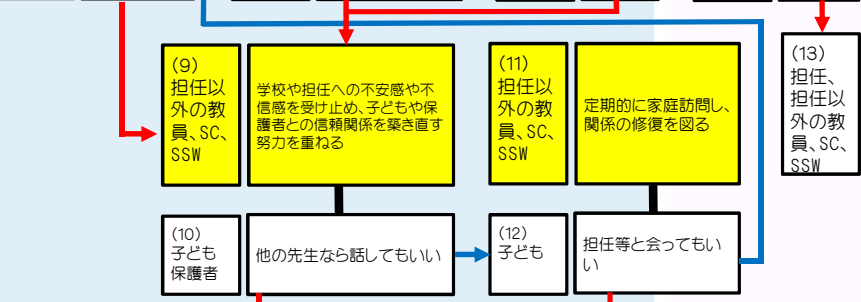
- (41) 学校(別室を含む)
- (42) 学校以外の支援機関(教育支援センター・心の教育センター)
- (43) 進学・転学先
- (44) 児童相談部署等の関係機関

学校や教員の指導がきっかけで欠席し始めた児童生徒への対応

(0)管理職に報告・初期対応方針の確認



- (0) →管理職が子どもの欠席状況等を把握する方法や時期について、学校にばらつきが見られる
 →教員等が家庭訪問を行う際、子ども・保護者へのアプローチの仕方等を確認せず実施しているケースがある
- (1) →子どもの気持ちに寄り添って本人の気持ちを聞き取るという目的を理解せず、家庭訪問を行うケースがある
- (3) →教員が丁寧な説明や謝罪を行わず、子どもや保護者の納得が得られないケースがある
- (5) →学校としての組織的な対応や改善策を検討するタイミングが遅く、本人・保護者の不信感を拭えないケースがある
- (9) (11) →子どもが当該教員と会いたくないと思っているにもかかわらず、そのことを把握せずに当該教員が会いに行ったり、当該教員以外の教員の対応のタイミングが遅れたりするケースがある
- (14) (15) →校内支援会で子どもの状況に応じたアセスメントが十分でないため、支援方針や内容など子どもの課題に応じた適切な支援ができず、本格期に入ってしまうケースがある
- (34) (35) →別室に登校しても教職員の情報共有や意思統一ができていなかったり、対応できる教職員が少なかったりして、個に応じた支援が十分にできないケースがある

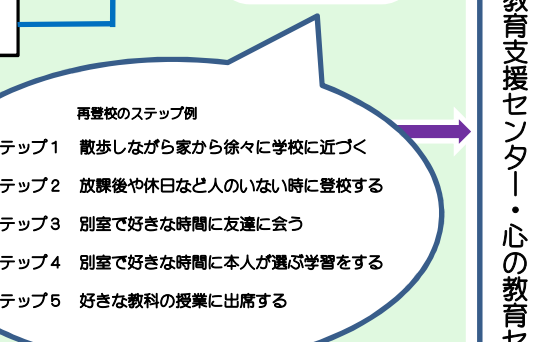
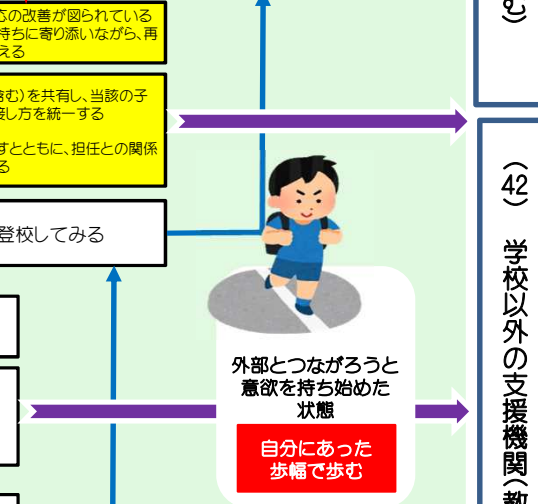
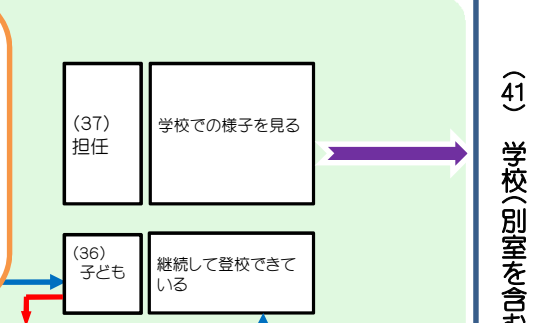
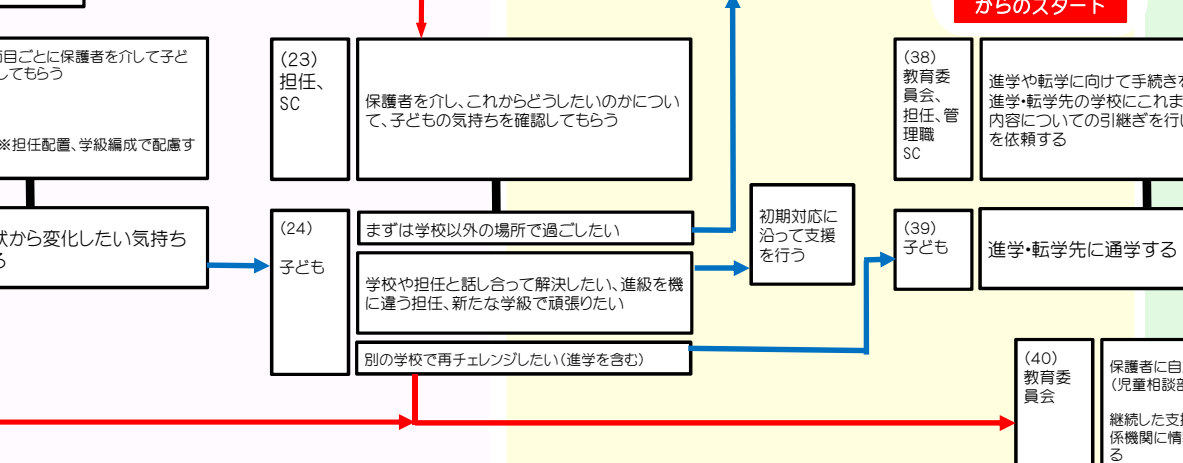
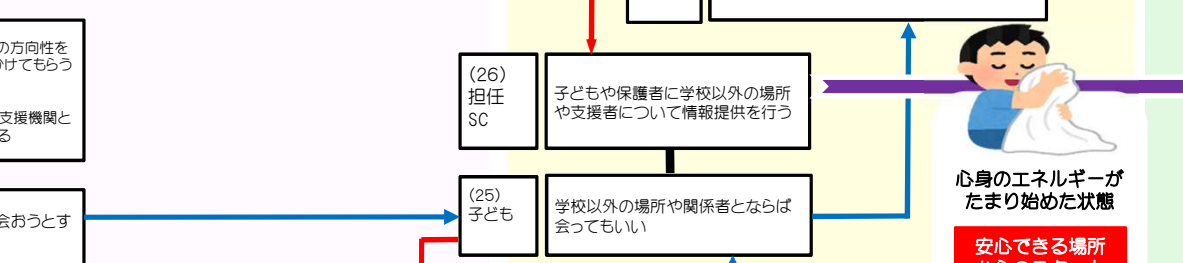
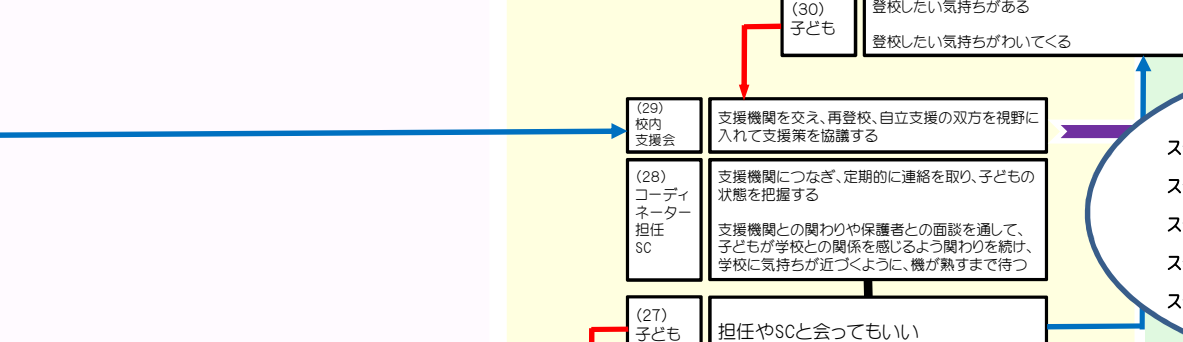
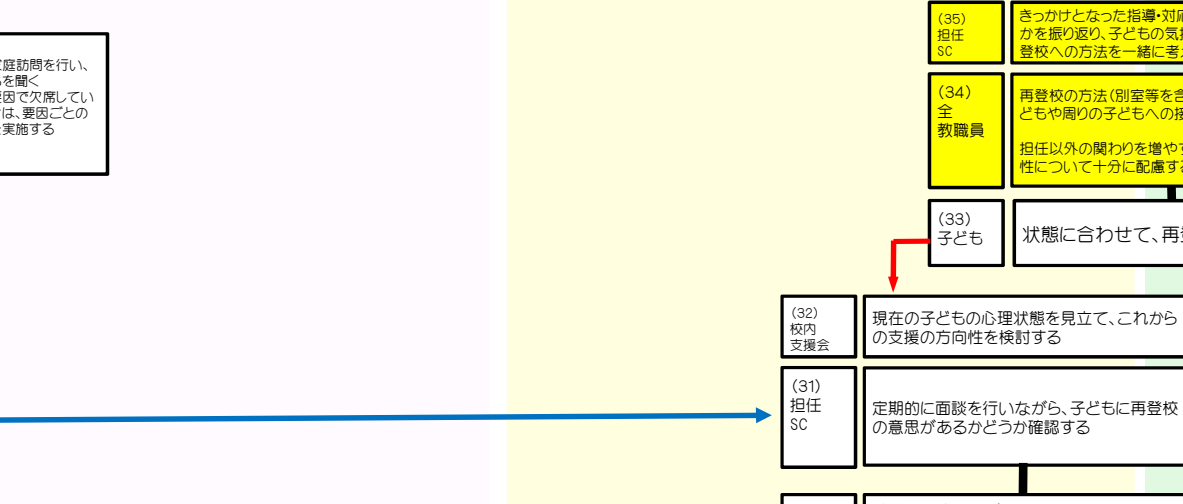


登校しぶり等が見られる状態
早く気づいてすぐ対応!

子どもが本格期から回復期に移行したかを見極めるポイント

- ステップ1 家の中で子どもの気持ち安定している
- ステップ2 子どもの生活にリズムが出てくる
- ステップ3 家の手伝いをするようになる
- ステップ4 興味や関心が家の外に広がる

登校困難な状態が本格化している状態
じっくりと関わる



再登校のステップ例

- ステップ1 散歩しながら家から徐々に学校に近づく
- ステップ2 放課後や休日など人のいない時に登校する
- ステップ3 別室で好きな時間に友達に会う
- ステップ4 別室で好きな時間に本人が選ぶ学習をする
- ステップ5 好きな教科の授業に出席する

再登校のステップ例

- ステップ1 散歩しながら家から徐々に学校に近づく
- ステップ2 放課後や休日など人のいない時に登校する
- ステップ3 別室で好きな時間に友達に会う
- ステップ4 別室で好きな時間に本人が選ぶ学習をする
- ステップ5 好きな教科の授業に出席する

再登校のステップ例

- ステップ1 散歩しながら家から徐々に学校に近づく
- ステップ2 放課後や休日など人のいない時に登校する
- ステップ3 別室で好きな時間に友達に会う
- ステップ4 別室で好きな時間に本人が選ぶ学習をする
- ステップ5 好きな教科の授業に出席する

外部とつながろうと意欲を持ち始めた状態
自分にあった歩幅で進む

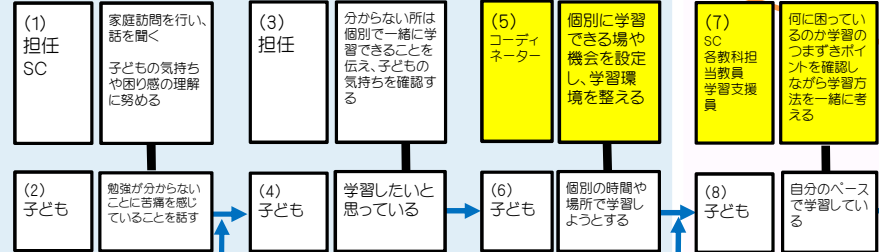
安心できる場所からのスタート
安心できる場所からのスタート

心身のエネルギーがたまり始めた状態
安心できる場所からのスタート

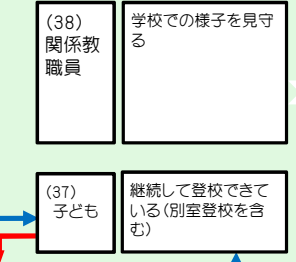
進学の準備が整った状態
進学の準備が整った状態

学業不振がきっかけとなり欠席し始めた児童生徒への学校の対応

(0) 管理職に報告・初期対応方針の確認



(対応前)→学業不振に陥りそうな子どもの情報共有の方法や時期について、学校によってばらつきがある
 (5) (29)→子ども一人一人に応じた学習環境の設定や準備、関係機関との連携を推進するコーディネーターの力量に差がある
 (7) (13)→校内支援会での子どもの状況に応じたアセスメントが十分でないため、子どもの課題に応じた適切な支援ができず、本合格期に入ってしまうケースがある
 (35) (36)→教員が子どもの気持ちや状況を十分に把握しないまま、再登校を強く促してしまい、状況が悪化するケースがある
 (43)→教育支援センターと連携した支援が必要なケースがあるにもかかわらず、居住地域に教育支援センターがなかったり支援員が不足していたりして、十分な支援を受けることができていないケースがある
 →教育支援センターに学習できる設備や教材が十分でない状況や学習指導ができる人材がいない状況がある



(42) 学校(別室を含む)

(43) 学校以外の支援機関(教育支援センター・心の教育センター)

(44) 進学・転学先

(45) 児童相談部署等の関係機関

YES (blue arrow)
NO (red arrow)



登校しぶり等が見られる状態
早く気づいてすぐ対応!

子どもが本合格期から回復期に移行したかを見極めるポイント

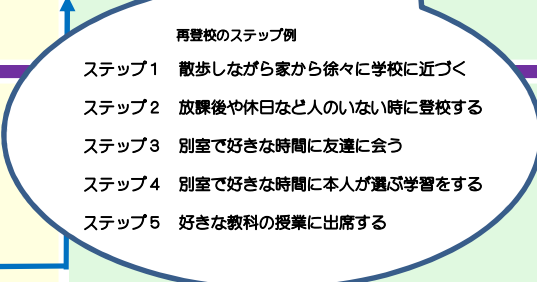
- ステップ1 家の中で子どもの気持ちが安定している
- ステップ2 子どもの生活にリズムが出てくる
- ステップ3 家の手伝いをするようになる
- ステップ4 興味や関心が家の外に広がる



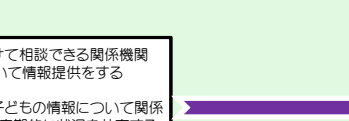
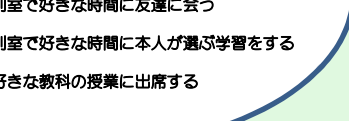
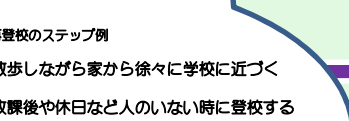
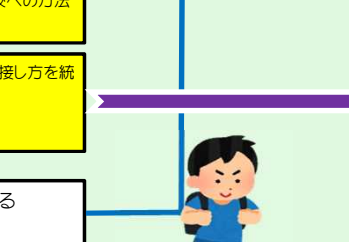
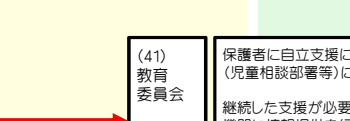
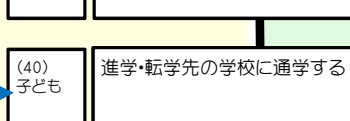
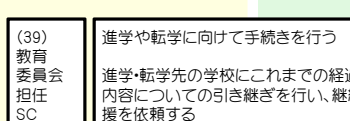
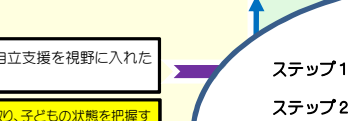
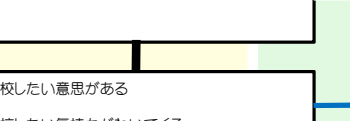
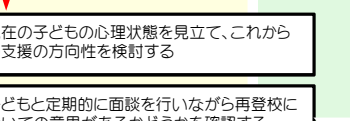
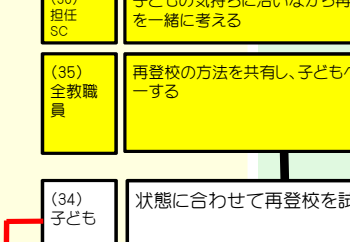
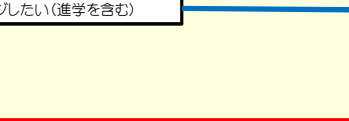
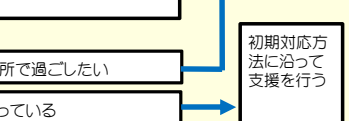
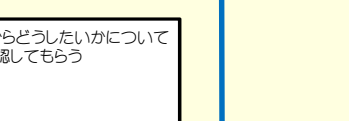
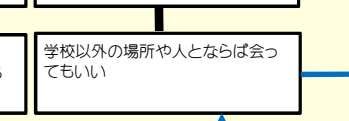
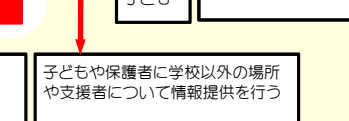
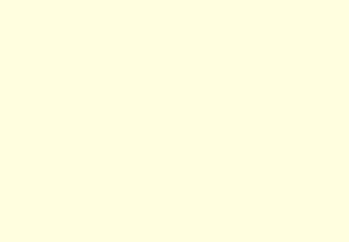
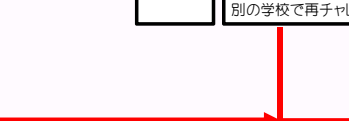
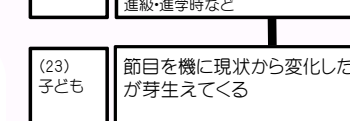
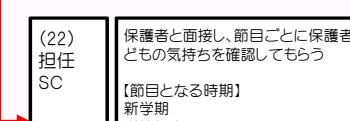
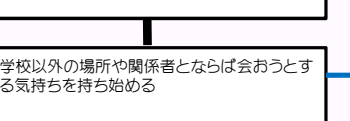
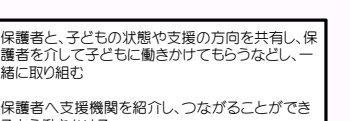
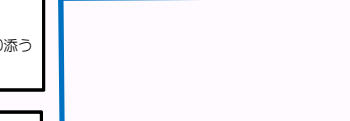
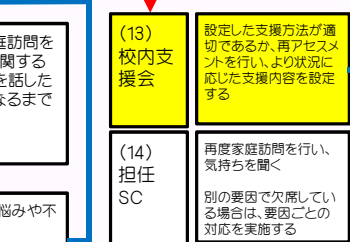
登校困難な状態が本格化している状態
じっくりと関わる



心身のエネルギーがたまり始めた状態
安心できる場所からのスタート

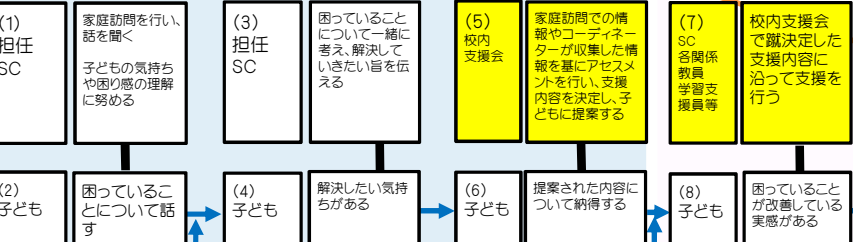


外部とつながろうと意欲を持ち始めた状態
自分にあった歩幅で進む



本人の特性により学校生活に対応できずに欠席し始めた児童生徒への学校の対応

(0) 管理職に報告・初期対応方針の確認



(対応前)→配慮の必要な子どもの情報共有の方法や時期が、学校によってばらつきがある
→子どもの特性により学級不適應に陥っている状態に気づく時期が教員によって差があり、発見が遅れるケースがある

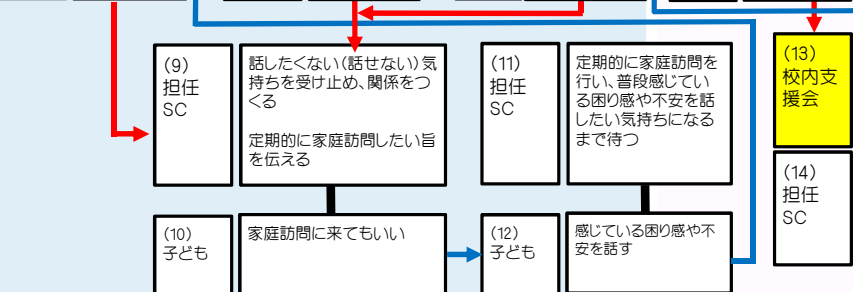
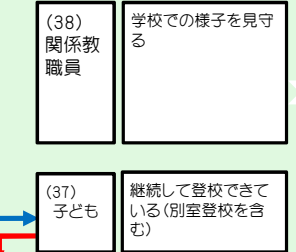
(7) (29)→子ども一人一人に応じた生活環境の設定や準備、関係機関との連携を推進するコーディネーターの力量に差がある

(5) (13) (15)→校内支援会での子どもの状況に応じたアセスメントが十分でないため、子どもの課題に応じた適切な支援ができず、本合格期に入ってしまうケースがある

(16)→保護者が抱えている「育てにくさ」や「将来の不安」など保護者の気持ちに寄り添い、関係を築くことが十分でないケースがある

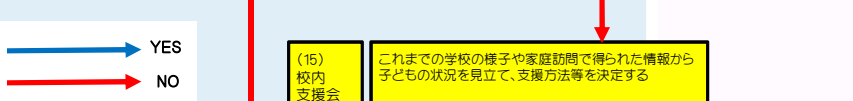
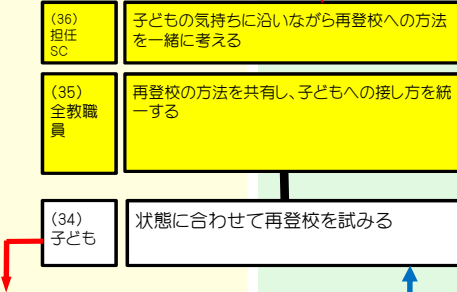
(35) (36)→教員が子どもの気持ちを十分に把握せず再登校を強く促してしまい、状況が悪化するケースがある

(43)→医療機関や専門機関等のニーズがありながら待機状態となっているため、子どもの状態に応じたタイムリーな連携ができず、適切な支援が遅れる状況がある



(13) 校内支援会
設定した支援方法が適切であるか、再度アセスメントを行い、より状況に応じた支援内容を設定する

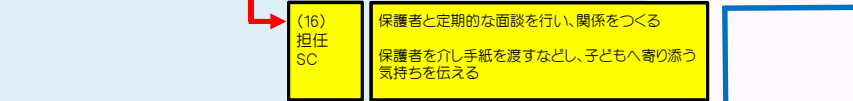
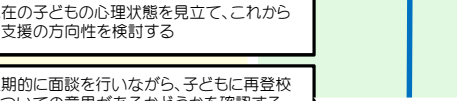
(14) 担任 SC
再度家庭訪問を行い、気持ちを聞く
別の要因で欠席している場合は、要因ごとの対応を実施する



(33) 校内支援会
現在の子ども心理状態を見立て、これからの支援の方向性を検討する

(32) 担任 SC
定期的に面談を行いながら、子どもに再登校についての意思があるかどうかを確認する

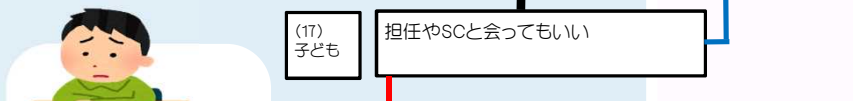
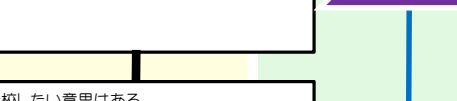
(31) 子ども
登校したい意思はある
登校したい気持ちがわいてくる



(30) 校内支援会
支援機関をまじえ、再登校、自立支援を視野に入れた支援会を開催する

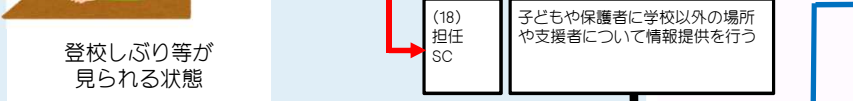
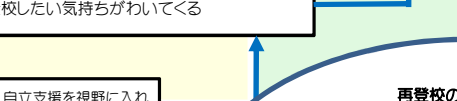
(29) コーディネーター 担任 SC
支援機関と定期的に連絡を取り、子どもの状態を把握する
支援機関との関わりや保護者との面談を通し、子どもが学校へ近づくような気持ちになるまで待つ
※子どもに困り感がある場合は、初期対応の方法に沿って支援を行う

(28) 子ども
担任やSCと会ってもいい



(27) 担任 SC
子どもや保護者に学校以外の場所や支援者について情報提供を行う

(26) 子ども
学校以外の場所や人とならば会ってもいい

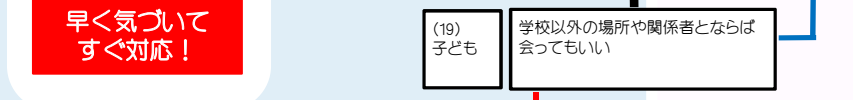


(25) 担任 SC
保護者と面接し、節目ごとに保護者を介して子どもの気持ちを確かめよう

【節目となる時期】
新学期
学校行事
進級・進学時など

(24) 担任 SC
保護者を介し、これからどうしたいかについて子どもの気持ちを確かめよう

(23) 子ども
節目を機に現状から変化したい気持ちが芽生えてくる



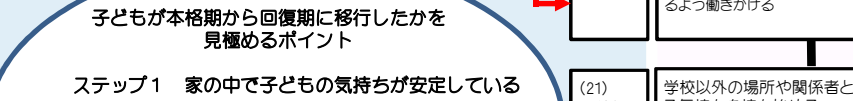
(22) 担任 SC
保護者と面接し、節目ごとに保護者を介して子どもの気持ちを確かめよう

(21) 子ども
学校以外の場所や関係者とならば会おうとする気持ちを持ち始める



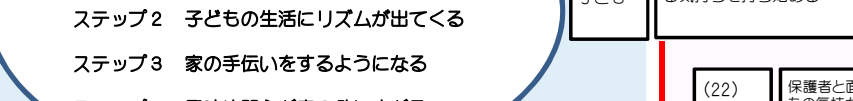
(20) 担任 SC
保護者と、子どもの状態や支援の方向を共有し、保護者を介して子どもに働きかけてもらうなどし、一緒に取り組む
保護者へ支援機関を紹介し、つながることができるよう働きかける

(19) 子ども
学校以外の場所や関係者とならば会ってもいい



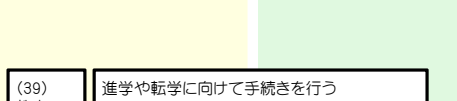
(18) 担任 SC
子どもや保護者に学校以外の場所や支援者について情報提供を行う

(17) 子ども
担任やSCと会ってもいい



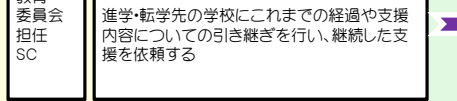
(16) 担任 SC
保護者と定期的な面談を行い、関係をつくる
保護者を介し手紙を渡すなどし、子どもへ寄り添った気持ちを伝える

(15) 校内支援会
これまでの学校の様子や家庭訪問で得られた情報から子どもの状態を見立て、支援方法等を決定する



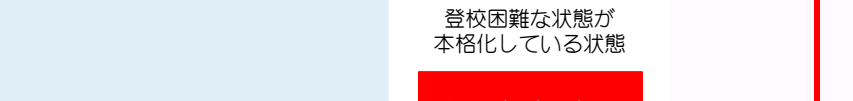
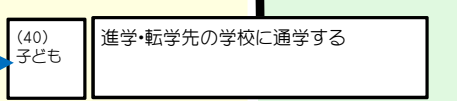
(14) 担任 SC
再度家庭訪問を行い、気持ちを聞く
別の要因で欠席している場合は、要因ごとの対応を実施する

(13) 校内支援会
設定した支援方法が適切であるか、再度アセスメントを行い、より状況に応じた支援内容を設定する



(11) 担任 SC
定期的な家庭訪問を行い、普段感じている困り感や不安を話したい気持ちになるまで待つ

(10) 子ども
家庭訪問に来てほしい



(9) 担任 SC
話したくない(話せない)気持ちを受け止め、関係をつくる
定期的に家庭訪問したい旨を伝える

(8) 子ども
困っていることについて話す



(7) SC 各関係者 教員 学習支援員等
校内支援会で鑑別した支援内容に沿って支援を行う

(6) 子ども
提案された内容について納得する



(5) 校内支援会
家庭訪問での情報やコーディネーターが収集した情報を基にアセスメントを行い、支援内容を決定し、子どもに提案する

(4) 子ども
困っていることについて話す

(3) 担任 SC
困っていることについて一緒に考え、解決していきたい旨を伝える

(2) 子ども
困っていることについて話す

(1) 担任 SC
家庭訪問を行い、話を聞く
子どもの気持ちや困り感の理解に努める

(0) 管理職に報告・初期対応方針の確認

(0) 管理職に報告・初期対応方針の確認

(0) 管理職に報告・初期対応方針の確認

(0) 管理職に報告・初期対応方針の確認

(0) 管理職に報告・初期対応方針の確認

(0) 管理職に報告・初期対応方針の確認

(0) 管理職に報告・初期対応方針の確認

(0) 管理職に報告・初期対応方針の確認

(0) 管理職に報告・初期対応方針の確認

(0) 管理職に報告・初期対応方針の確認

(0) 管理職に報告・初期対応方針の確認

(0) 管理職に報告・初期対応方針の確認

(0) 管理職に報告・初期対応方針の確認

(0) 管理職に報告・初期対応方針の確認

(0) 管理職に報告・初期対応方針の確認

(0) 管理職に報告・初期対応方針の確認

(0) 管理職に報告・初期対応方針の確認

(0) 管理職に報告・初期対応方針の確認

(0) 管理職に報告・初期対応方針の確認

(0) 管理職に報告・初期対応方針の確認

(0) 管理職に報告・初期対応方針の確認

(0) 管理職に報告・初期対応方針の確認

(0) 管理職に報告・初期対応方針の確認

(0) 管理職に報告・初期対応方針の確認

(0) 管理職に報告・初期対応方針の確認

(0) 管理職に報告・初期対応方針の確認

(0) 管理職に報告・初期対応方針の確認

(0) 管理職に報告・初期対応方針の確認

(0) 管理職に報告・初期対応方針の確認

(0) 管理職に報告・初期対応方針の確認

(0) 管理職に報告・初期対応方針の確認

(0) 管理職に報告・初期対応方針の確認

(0) 管理職に報告・初期対応方針の確認

(0) 管理職に報告・初期対応方針の確認

(0) 管理職に報告・初期対応方針の確認

(0) 管理職に報告・初期対応方針の確認

(0) 管理職に報告・初期対応方針の確認

(0) 管理職に報告・初期対応方針の確認

(0) 管理職に報告・初期対応方針の確認

(0) 管理職に報告・初期対応方針の確認

(0) 管理職に報告・初期対応方針の確認

(0) 管理職に報告・初期対応方針の確認

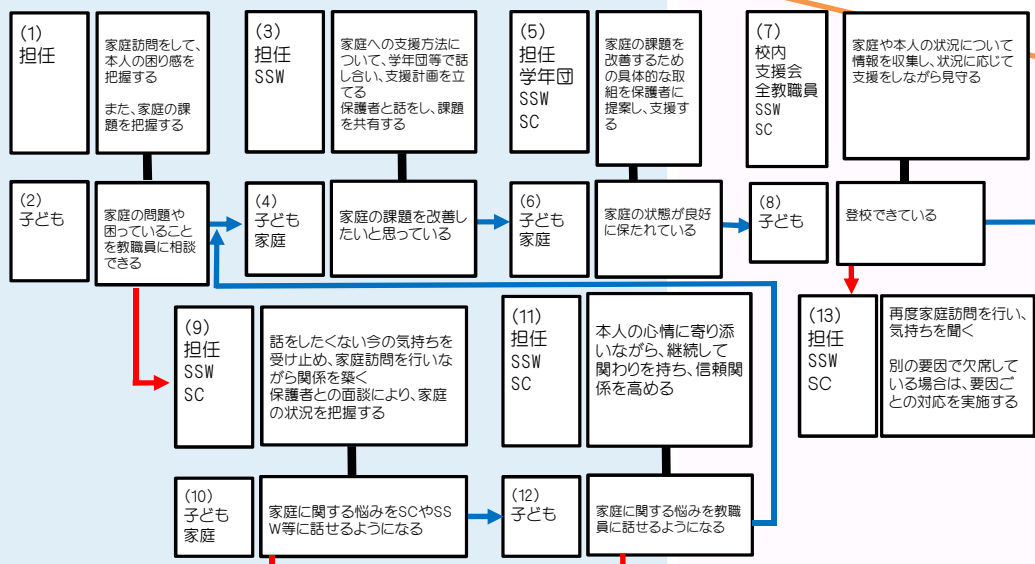
(0) 管理職に報告・初期対応方針の確認

(0) 管理職に報告・初期対応方針の確認

(0) 管理職に報告・初期対応方針の確認

家庭の要因により不安定になり登校できなくなった児童生徒への学校の対応

(0) 管理職に報告・初期対応方針の確認



YES NO

登校しづり等が見られる状態
早く気づいてすぐ対応!

子どもが本合格期から回復期に移行したかを見極めるポイント

ステップ1 家の中で子どもの気持ちが安定している

ステップ2 子どもの生活にリズムが出てくる

ステップ3 家の手伝いをするようになる。

ステップ4 興味や関心が家の外に広がる

登校困難な状態が本格化している状態
じっくりと関わる

(対応前) → 配慮の必要な子どもの情報共有の方法や時期が、学校によってばらつきがある

(14) (15) → 校内支援会は実施しているが、全ての校内支援会にSSWが参加することができていない学校がある
→ SSWの専門性や対応力が不十分なために、適切な見立てや支援に至らないことがある

(19) (21) (22) → 日々の家庭状況の情報を細かに把握することができず、状況に応じた支援計画の見直しができているケースがある

(26) (29) → 家庭への継続した支援のために、家庭と関係機関を確実につなげることができていないケースがある

(41) → 教育支援センターにおける福祉・心理・教育に関する専門的な知識や経験に基づく支援が十分でない状況がある

(35) 担任 SSW SC 学校での様子を見守る

(36) 子ども 継続して登校できている(別室登校を含む)

(32) 担任 子どもが学級に復帰しやすいよう、学級の受け入れ体制を整える

(33) 担任 SSW SC 等 子どもの状況に合わせて、まずは学校内の別室や保健室に登校できるようにするなど、学級復帰に向けて段階的に支援する

(34) 子ども 家庭 学校に登校してみようと思う
家庭の課題が大きく改善し、安定する

(29) 校内支援会 教育支援センター等と連携し、本人や家庭の状況に応じて、社会的自立に向けた支援計画を立てる

(30) 担任 SSW SC 等 教育支援センター等学校以外の場所の活用を提案するなど、社会性の育成を図る

(31) 子ども 家庭 教育支援センター等に通うことができる
家庭の課題が改善され、本人のストレスが軽減する

(26) 校内支援会 支援計画の見直し、役割分担についての確認

(27) 担任 SSW SC 等 本人や家庭への支援を継続し、本人の心理状態や家庭の状況に関する情報収集に努め、状況に応じて支援計画を見直す

(28) 子ども 家庭 学校以外の場所でなら活動してみたいと思うようになる
家庭の課題が改善傾向にあり、保護者が教育支援センター等に理解や関心を示す

心身のエネルギーがたまり始めた状態
安心できる場所からのスタート

再登校のステップ例

ステップ1 散歩しながら家から徐々に学校に近づく

ステップ2 放課後や休日など人のいない時に登校する

ステップ3 別室で好きな時間に友達に会う

ステップ4 別室で好きな時間に本人が選ぶ学習をする

ステップ5 好きな教科の授業に出席する

外部とつながろうと意欲を持ち始めた状態
自分にあった歩幅で歩む

(24) 担任 SSW SC 等 子どもや家庭への支援を継続し、子どもの心理状態や家庭の状況に関する情報収集に努める

(25) 子ども 家庭 家庭の課題に改善の兆しが見られ、本人に家から出ようとする意欲が生まれてくる

(19) 校内支援会 本人の心理状態や家庭の課題について、再度見立て直しを行い、支援計画を再検討する
担任、SC等を中心に、組織的な支援を継続する

(20) 子ども 家庭 自宅周辺や買い物等でなら、外出することができる
保護者が家庭の課題を改善したいと思っている

(21) 校内支援会 本人の心理状態や家庭の課題について、再度見立て直しを行い、支援計画を検討する
福祉や医療等の関係機関との連携を強化し、家庭への支援ネットワークを構築する

(22) 子ども 家庭 自分自身の心身の安全を確保することができる
保護者が家庭に課題があることを認識できる

(22) 担任 SSW SC 等 子どもや家庭への支援を継続し、子どもの心理状態や家庭の状況に関する情報収集に努め、状況が好転しているかどうかを組織的に判断する

(23) 子ども 家以外の場所にも行きたい
学校で友達と楽しく過ごしたい
親族等からの支援を受けたい

(37) 教育委員会 担任 SSW SC 関係機関 家庭や親族に養育困難な状況を理解してもらい、子どもの養育を受け入れてもらえるよう働きかける
転学先の学校等に家庭環境等の情報提供を行い、支援が継続されるよう依頼する

(38) 子ども 家庭 親族等 祖父母やその他の親族等の家庭で受け入れてもらい、それに伴って転学する

(39) 教育委員会 学校 SSW 福祉事務所 養育が非常に困難な家庭であると捉え、要対協や児童相談所による継続的な支援をする
児童養護施設への入所等、一旦家庭と切り離して、児童生徒の心身の安全を確保する

(40) 学校(別室を含む)

(41) 学校以外の支援機関(教育支援センター・心の教育センター)

(42) 進学・転学先

(43) 児童相談部署等の関係機関